

認知症の本人の声ヒアリング

(1) 調査概要

目的：共生社会の実現を推進する認知症基本法の基本理念に基づき、認知症の本人の声を認知症施策推進計画に反映させる。
 対象：在宅又は施設入居者であって認知症、軽度認知障害と診断された方、又はその疑いのある方（24人）
 方法：地域包括支援センター職員による認知症の本人への聞き取り
 時期：令和7年11月～12月

(2) 調査結果

本人が「ふだんやっていること」	本人がやりたいこと・願い
買い物に行く(5) 調理 洗濯物を干す・取り込む・たたむ(3) 車を運転して妻と出かける 犬・猫等ペットの世話(3) 教会に行ってお祈りをする 歌・体操(6) 新聞(3) 和歌・クイズ人と会って話をする(2) 喫茶店へ行く 登下校見守り(2) 編み物・ミシン 散歩(2)	今までと同じように外出したい。（外食、買い物等） 自分で見て買う物を選びたい。 ○○さんの家に行って話がしたい。 話をしたい。話を聞いてほしい。 子や孫に会いたい。食事に行きたい。 踊りを教えたい。踊りの練習。 子どものお世話をしたい。 もうちょっと速く歩けるようになりたい。 作った野菜を人にあげると喜ばれ、その笑顔がうれしい。 ピアノ、料理 昔からの友達に会いたい 毛糸で服を編みたい 100歳になってケーブルテレビに出る 地域のシニアクラブ活動（日帰り旅行、花壇の世話、通いの場の世話役など） 裁縫
本人が「大事にしていること、楽しみにしていること」	本人ができなくて困っていること、手伝ってほしいこと
歌や踊り 読書(2) 人と会って話をする(2) パチンコ 畑仕事(2) 近所のオセロ教室 おやつ 老人会活動・まちかど体操 踊りの教室	冷暖房のリモコンのどこを押したらいいのかわからない。 物をどこにしまったかわからない。 車の運転ができなくなって、好きな時に外出できない。(2) 段取りができない。料理ができない。何を作っていいかわからない。 片づけ等の面倒なことを後回しにしてしまう。 言われたことが思い出せない。言葉だけで言われても理解できない。ゆっくり話をしてほしい。何度もわかるまで伝えてほしい。 途中で別のことをすると忘れる。 忘れていと言われるのがつらい。 約束をすぐに忘れてしまうので理解してほしい。
そのための「本人の習慣・工夫」「今ある周囲の支援」	
安い物を買う。 重いからいっばいは持てない。 子や孫が連れて行ってくれる。 いつも声かけて夫婦仲良くすること。 引退したが教室生の希望で行っている。 財布の置き忘れがあり、週1回お小遣い制にして無駄遣いがなくなった。 詩吟はしんどくてできないが和歌はできる。	